

第9回美里町立小学校適正規模等検討委員会概要録

招集期日	令和3年8月6日(金)
招集場所	美里町役場 2階201会議室
開会閉会	開会 午後2時00分 閉会 午後3時30分
出席委員	委員長 松本 浩 副委員長 茂木 精一
	委員 茂木 智孝 委員 山崎 香苗
	委員 志村 弘人 委員 鈴木 薫
	委員 金子 延行 委員 丸山 耕一
	委員 清水 奈津子 委員 小林 健治
	委員 堀内 晴美
欠席委員	委員 中沢 一剛
説明のために出席した者	教育長 南 幹生 事務局長 丸山 陽一
	指導主事 神部 太輔 係長 中山 裕紀
傍聴人	3人

次第	顛末	
1 開会	事務局	
2 あいさつ	教育長	<p>コロナ禍ではあるが、感染防止対策を行った上で検討委員会を開催する。</p> <p>今回も前回に引き続き、本検討委員会が町教育委員会に答申する「美里町立小学校適正規模・適正配置」の答申内容の検討が主なものとなる。</p> <p>是非、検討委員の皆様には、「将来の美里町を背負って立つ子供たちにとって、望ましい学校教育環境は何か」、「その望ましい学校教育環境の中で、どのような教育を進めたら良いか」等の視点を大切にしてい、検討・協議を進めていただければと思う。</p>
3 前回会議録の署名について	事務局	第8回会議の概要録については、委員から署名をいただき、承認済みなので報告する。
4 議事	事務局	議事の進行については、委員長にお願いする。
	委員長	第9回という事で今日、答申の最終まとめができると良いと思っている。

	<p>皆さん方に慎重に審議していただき、美里町の小学校の適正規模、適正配置がしっかりと答申がまとめられるよう、協力をお願いしたい。</p> <p>(1)答申(案)について、事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p>前回第8回の会議で答申の前段部分について説明した。議論していただき、いろいろとご意見をいただいた事に感謝申し上げます。</p> <p>修正部分について説明する。1ページの『2 美里町立小学校の現状』の『(1)児童数・学級数について』で各小学校の学級数を記載させていただいたが、指摘があった箇所について「普通学級」6学級ですとか8学級といった表記にさせていただいた。その下の部分でも「学年1クラスである」といった部分について、「普通学級が学年1クラス」といった表記で示した。</p> <p>次の修正部分は、2ページの『(2)学校施設について』の下段のところに「長寿命化耐震工事」という記載があったが、実際に過去に行ったものは「耐震補強工事」という形で行っており、「長寿命化」にはさらにこれから工事が必要になると思われるので、正確な表記として「耐震補強工事」を行っているという表記にした。</p> <p>続いて『(4)管理・運営費について』、管理運営費の部分だが、文末の表記を若干変更した。学校の大規模、小規模にかかわらず4,000万円前後の経費がかかってくるという意味で「大規模、小規模にかかわらずかかってくる」という表記にした。</p> <p>続きまして3ページの『3(2)安心安全な学校施設の視点』、こちらも「耐震補強工事」と表記を修正した。</p> <p>その下の『(5)効果的な教育実践を行う視点』の2行目「また、児童たちが切磋琢磨し」と入れた。これは前回の議論の中で、そういった視点が必要だとの意見があったので加えた。その下の「新しい教育スタイルも検討の視点である」も議論の中で、教育長が話をした部分であるが、その中で「今後新し</p>

	<p>い教育スタイルを検討していかなければならない」という話が出たので、こちらに加えた。</p> <p>修正部分については以上である。</p>
委員長	<p>今、1番から3番まで、前回皆さんに審議いただいた部分を修正したものを発表してもらった。</p> <p>これを受けて、いよいよ答申の形という事で、事務局の方からその案を述べてもらいたいと思っているがよろしいか。</p>
事務局	<p>『4 答申』が本体の部分となる。今までの議論の中でだいぶ意見が集約されていると思っているところであり、いただいた意見をなるべく忠実に表現するようにという形で記載したが、もしこの中でズレ等がありましたら指摘いただきたいと思う。</p> <p>『当委員会は、検討の結果、次のとおり提言する。』</p> <p>まず、1点目として、『児童の教育効果を担保する適正規模から考えると、将来は小学校を1校とすることが望ましい。』</p> <p>2点目。『学校を1つにする時期については、大沢小学校が複式学級になる時期や松久小学校の校舎の耐久年数時期を勘案し、令和15年までが望ましい。』</p> <p>3点目。『以下の2点から、新たな小学校は、町中心部に新設が望ましい。』その中の1点が、『適正規模が1小学校であるならば、適正配置は、町の中心部にすることが望ましい』。2点目が、『町の中心部の小学区を想定した場合、松久小学校は中ほどに位置するが真ん中ではなく、建築後の年数も一番古く、その後の改修・修繕費が多く見積もられる。』</p> <p>4点目。『新たな学校の教育スタイルは、小中一貫校として、児童が中学校へスムーズに進学できるように、また教職員は小中学校兼務発令を行い、小学校の教科担任制や中学校の技能科目の充実を図ることが望ましい。』</p> <p>最後5点目。「3校を1校にする」の「する」が重なっているので訂正する。『3校を1校にすると、通</p>

	<p>学区域が広がり、新たな学校まで徒歩で4 kmを超える地域もあり、スクールバスの活用が考えられる。このスクールバスの活用により、通学班の編成や通学路の安全安心の確保が望まれる。』</p> <p>答申の全文は以上である。</p>
委員長	<p>今、答申の骨格が発表されたわけだが、当然どうしてこの答申が出たのだろうかという事で、事務局から理由も併せて説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>では、『5 答申の理由』の部分を説明する。</p> <p>小学校においては「学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。」と学校教育法施行規則第41条に定められている。</p> <p>今後を考えたとき、令和15年頃、大沢小では複式学級の編制が想定される。児童数、学級数の減少は、様々な面で課題が生じる可能性がある。例えば、通学班の編成、学習指導要領で定められた教育課程の完全実施、多面的多角的に友達の意見や考えを聞き自分の意見を持つこと、クラス替え等々。そこで、こうした課題を解決するために、適正規模の視点から、3小学校を1小学校にしていくことが望ましいと考える。</p> <p>また、1つの小学校にした場合、校舎の耐用年数や児童の通学距離、校舎維持管理費の観点から、町の中心に新設の校舎を設置することが望ましいと考える。新設の利点は、児童に新鮮な気持ちで学習に取り組ませることができること。また、修繕費が当面の間かからないこと、光熱水費の合理化が図れることなどが挙げられる。</p> <p>さらに将来、新設の小学校の教育活動がスムーズにいくように中学校との連携も図ることができる。特に、算数、理科、外国語等の高学年の教科担任制の導入に対して、中学校のノウハウが生かされるようにしたい。中学校にとっても、将来、小規模中学校になっていくことから、減少する教員の力を小学校教員の力でカバーし、互いに助け合える学校体制ができることが望まれる。</p>

	<p>一方で、学校から遠い児童の通学の安全・安心を確保しなければならない。そのために、新たにスクールバスの必要性が生じる。こちらは新たな費用負担になる。</p> <p>また、小学校が子どもたちの教育施設であるだけでなく、地域のコミュニティの核としての性格を有し、防災、保育、地域交流の場等、様々な性格を担ってきた。この役割が消えることに伴い、それに代わる公民館活動等の充実が望まれる。</p> <p>さらに、跡地の活用についても十分に検討しなければならない。町の財産を有効に活用しなくてはならない。</p> <p>以上の点が「答申の理由」となる。</p>
委員長	<p>新たに資料の方が2つばかり追加された、あるいは修正されて追加されたという事なので、これも併せて説明願いたい。</p>
事務局	<p>資料を2枚、付けさせていただいた。そちらを確認いただきたい。</p> <p>資料7の美里町立小学校 施設の築年次と経年数だが、前回、耐震工事を実施しているところとしていないところの区別が分かりにくいという指摘があったので、名前と築年次の次に耐震基準という欄を加えた。</p> <p>昭和56（1981）年に施行された新しい耐震基準に則って出来た施設は、現在有効である耐震基準を満たしているという形になり、その基準を満たしている施設というのが大沢小学校になっているので、新たに耐震診断や耐震工事も行っていない。</p> <p>松久小、東児玉小については、旧基準での施設になるので、その後耐震診断を行い、一番右に記載されている年に耐震工事をした。</p> <p>また、給食室は小規模施設であるので、元々耐震診断は対象外となっているので、耐震工事は実施していない。</p> <p>資料11だが、こちらは前回のスクールバスの話が出た中で、第6回会議で出した資料も答申の中に</p>

	<p>含める事が適当であろうという話があったので、スクールバスの経費見積として資料11を追加した。前回出した資料10までと、この資料11を加えて、資料編として載せたいと思う。</p>
委員長	<p>今日、この答申（案）の4番5番のところを初めて見るわけだが、少し時間を取るの、考えていただきたいと思う。それぞれ保護者の立場から、経験者の立場から、そして区長の立場から、校長先生の立場から考えていただき、この後皆様方から意見を頂戴したいと思う。</p> <p>それでは10分ほど時間を取るの、「ここは辻褃が合わない」、あるいは「ここを言うなら、もっとこの資料が欲しい」、あるいは「ここは自分が納得しない」等、そういうところがあったら、今日が最後という予定なので、遠慮なく言っていただき、美里町で後ほど公表になると思うが、皆さんが「よく検討したな」と言ってもらえるような、そういう答申にしたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは、時間を見るので、少し検討をしていただきたいと思う。</p>
委員長	<p>そろそろ時間になるが、皆さんの方から意見を頂戴したいと思う</p> <p>それではまず、保護者の立場からという事でPTA会長さん、経験者の皆さん方からお願ひしたいと思う。</p>
委員	<p>資料をもらって振り返ると、私は今思えば新しい校舎だった。ちょうど何年か経ったところで小学校に入っている。自分たちがそうだったので、新しい小学校が望ましいと思う。</p> <p>内容を見て、私はいいと思うが、資料11が気になる。一番上に『通学距離約3km以上をカバーする想定』で下の方には約6千万。そういった見積もりになっていると思うが、実際にはまだ先の話だが、経路が例えば松久でも広木や広木新田はかなり距離がある。東児玉にしても、下児玉や関等、遠い所はもっとあると思う。なので、経路が足りないこ</p>

	<p>とを指摘されると思う。</p> <p>予算が約6千万だが、もう少し増やしておいた方がいいのではないか。個人的にはそう思った。</p>
委員長	<p>経路がもう少し多くなると住民が安心するのではないかという事。</p> <p>この見積だが、入札をすればもう少し下がるのではないか。その辺りの所はまだ下がる余地は十分ある。</p>
委員	<p>今までこの会に全て出ている。答申が出て、これで私としてはいいと思う。特に「ここが」というのは無い。色々な意見は代表として、保護者として意見をださう言ってきたので、特に意見はない。</p>
委員長	<p>たくさん出した意見が盛り込まれている、という事で理解してよろしいか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>学識経験者の立場から、2人から意見をいただきたい。</p>
委員	<p>1点だけ。内容はとてもいいが、私は1つだけ学力に対しての文面が少し力不足ではないかと。もっと力強く言ってもいいのではないかと、というところがある。</p> <p>5ページの上から3行目『児童に新鮮な気持ちで学習に取り組ませることができること』だが、もっと深く言ってもいいと思う。</p> <p>やはり新設、今まで美里で見たこともないような学校、児玉郡市でも見たことがないような学校、町民の皆さん児童の皆さん全ての皆さんが大きな期待をしていると思う。</p> <p>ただ、この答申を見ると、その大きな期待に実際に応えていられるのかどうかという部分が、私は学力の向上に関しても文言を1つ加えてもいいのではないかと考えた。</p>
委員長	<p>当然意欲を持って新しい学校で臨むのであれば、期待するものはその部分だと思うので、またこの部</p>

	分はその後検討したいと思う。
委員	<p>ここで提言することは「3つの小学校を1つにする」という1点だけであるようにこの文面だとそう思うのだが、今まで検討してきた義務教育学校や小中一貫教育校とか、将来的にはとか、そういう考えは町として持っているのか、そういうところも、今までいろいろ見てきた学校の事が、答申より前の部分にもあまり書いていないような気がする。</p> <p>「3つの小学校が1つになる」という事で、まずはそこなのかなと思うが、もし、中学校のそばに新しい小学校ができるという事になったら、「小中一貫校になるの？」という考えを持つ方もいると思う。その部分は全く触れられていないので、こういう事も検討したというのを前の部分に入れてもいいのではないかと思う。</p>
委員長	<p>これまで8回の会議では小中一貫校や義務教育学校、そういう事も検討して、そして先程の委員の話のように学力を高めるために色々な新しい学校のスタイルという事を考えてきたのだから、それをもう少し入れてもいいのではないかという。</p> <p>2人の話は一致する部分があるのではないかと、私は思った。併せてこの後その部分をどうするかという事については、セットにして考えていきたいと思う。</p> <p>それでは、続いて校長先生方、最後に区長さん方にお願ひする。</p>
委員	<p>このまま行ってしまうと、小中一貫校にするのかなというイメージがある。</p> <p>あと35人学級が今後全学年に向かって行われたとしても、児童数減少からクラス数は減っていくのだと。ただ減るとか増えるというのではなくて、その根拠になるところがしっかりと示せた方がいい。</p> <p>前回特別支援学級の事に触れたのは、例えば大沢小学校が今の試算だと令和10年・11年に10人</p>

ずつの入学になっているが、特別支援学級に3人ずつ入学したとすると、その学年のクラスの人数から減るので、7人・7人で場合によってはもっと早くに複式学級が出来てしまう可能性もある。現状での試算では令和15年頃が望ましいけれども、それよりも早まる事があるという事を1つ視野に入れて考えなければいけないと思う。

それから新しく統合されればクラス数がこれくらいで、学校の規模としてはこれくらいであるというのも、やはりどこかに示した方が見る人にとっては分かりやすいのかなと個人的な意見として感じた。

前回1番最初の1番のところ、先ほどの通常学級、普通学級の話があったところに特別支援学級を入れた方が良いのではないかとの話をしたのは、現状は特別支援学級の人数が美里町は10年前よりもかなり増えて、学級数も増えていて、児童数も増えているという現状があるので、そういうような事もどこかに担保として書いておく必要があるのかなと前回の時感じたので、言わせていただいた。

委員

重複するが、私も答申の4番目の『小中一貫校』という言葉聞いて、引っ掛かりがあった。こううたってしまっていていいのかなと思ったし、今日の埼玉新聞にも県内の学校で統一するというのがあったが、なかなか上手くすんなりいかなかったような記事を読んだ記憶もあるので、3校を1つに統合するという事よりも小中一貫校として系統的にやるのだという事を、やるのかどうかというところがどうなのかな、と思った。

スクールバスの事については、私も東児玉のところを見ると、納得いかないなというところがあった。今後検討していく事かと思うので、ここでは触れなくてもいいかとも思ったが、気付いたのでお話しさせていただいた。

委員長

両委員ともやはり将来の姿というのを少し見える形で書いた方が良いのではないかと。どれくらい

	<p>の規模、そして何学級くらいの学校になり、そして学校のスタイルは小中一貫校。そこまで果たして書いていいのかどうかというのがあるが、見えた方がワクワクすると言うか、希望が持てるというような部分もあると、確かに思うところもある。</p>
委員	<p>全体的に通してよくまとめられているなという印象である。今年度から会に加わったもので恐縮だが、このような印象である。</p> <p>委員からもあったように、小中一貫校なのかということについては、答申のところに『小中一貫校』と書いてある。で、答申の理由のところに『町の中心に新設』という事になると、町の中心に新設ということは町の中央部という事で、「美里中の近く」というのが読み取れる人は読み取れるし、読み取れない人は読み取れないかもしれないが、その辺りが曖昧なのかなと。</p> <p>どこまで書くかなのである。3小学校統合だけで済みますのか、そこまで踏み込んで書くのだとしたら、中学校の近くに新設されるのなら、さらにその下のところの中学校との連携がスムーズにできるということも、もう少し踏み込んでもいいのではと感じた。</p> <p>その辺りをどこまで踏み込むかということも、委員長からもあったが、書き方が少し変わってくるのかなと。町の中心部、役場の近所、または中央、その辺りの書き方等もある。</p> <p>あと1点。数字の事だが、4ページの下から6行目『令和15年』は、今から12年後。『(2035)年』ではなく『(2033)年』ではないかと。令和15年が大沢小の複式学級が想定されるのか、2035年が正しいのか。資料を読み込んでいないが、そこの数字的なところを今気が付いたので、申し上げさせていただいた。</p>
委員長	<p>今、委員からは「町の中心部」これだけだと、美里中との連携教育の部分が見える人には見える、見えない人には見えない。「中心部」カッコ書きでもい</p>

	<p>いから、「美里中のそば」という一言があると、読んだ人も分かるのではないかとの意見だった。</p> <p>確かにそれはあるなというふうに思う。</p> <p>さて、区長さん方からも意見をいただきたいと思う。</p>
委員	<p>私もまだこの会に出て3回目という事で、本当に浅くて、なかなかこういう会も少なかったので、少々理解しがたかったが、答申案を見ていずれにしても、小学校がこれから今の状態では人数が少ないので、1つにならなければいけないだろうなというのを前提に置いて読ませてもらって、最初のたたき台としてはよくできているのではないかと思った。</p> <p>なかなかこの歳になってきてみると、学校関係というのが目を通すことが少ない。皆さんの意見を参考にしながら列記したのだと思うが、できるだけ進んでもらうためにも、これがたたき台で良いのではないかなと感じた。</p>
委員	<p>答申の内容を見て、大枠ではほとんど良いのではないかという内容にまとまっていると思うが、近いうち10年先ぐらいか、3つの小学校が1つになるという事だが、一番の必然性というか、前々回くらいに人数が少ない大沢小学校と現在比較的3つの中では多い東児玉小学校との1年に掛かる学校の運営費用が変わらないというお話が出ていたと思うが、3つの小学校が10年後くらいに1つに統合される必然性の1つに、運営費用が小さい大沢小学校が東児玉小と同じくらい1年間掛かってしまうという事であれば、これはある程度仕方がないのかなというのが誰しも分かると思う。</p> <p>それともう1つ自分が思っていたのが、大沢小学校出身なので、人数が少ないと先生に丁寧に教えてもらえるのかなと淡い期待もあったが、複式学級の内容をこの前聞いたところ、仮に複式学級になった場合だが、1人の先生が2学年を受け持つ。仮に1年・2年だとして、1年生を教えている時は2年生には自習をしてもらおう、そういう内容だったので、</p>

	<p>その内容を聞くと、人数が少ないと丁寧に教えてもらえるというのがちょっと苦しくなるのかなという気がした。複式学級というのは、自分の頭の中では良い点と悪い点があったが、説明を受けて、やはり結構負の部分が多いのかなという印象を受けた。</p> <p>小さい小学校でも運営費用はそれなりに掛かってしまう、少ないからと言ってそれほど丁寧に教えてもらえるわけでもない、となると10年後くらいに3つの小学校を1つにするというのも、ある意味必然性がある事なのかなと思う。</p> <p>そこで1つ私が引っ掛かったのが、4ページに『教育スタイルは、小中一貫校として』という文面が書いてあるのが、これはそういう事が文科省で決められているのか。</p>
委員長	決められているわけではない。
教育長	決められてはいない。
委員	これはあくまでも提案という格好で、そうなるかどうかは分からないということか。
教育長	<p>ここで答申されて、その答申内容が十分尊重された計画が作られて、実際にGOになった時には、そうなると思う。</p> <p>そこまでしなくてもいいのではないかと、そういう意見が出た場合はまた違うものとなると思う。</p>
委員長	<p>実際に流れを申し上げると、ここで答申をまとめる、この答申は教育委員会に、教育長に提出するわけである。</p> <p>教育長は教育委員会を招集し、教育委員会の皆さんに「こういう答申が出たけれども」という事で公表して、さらに検討をする。</p> <p>教育委員会として今度は町長部局と相談をして、おそらくもし前へ進むという事になれば、今度は案を作って、その間にアンケートを取る等いろいろあると思うが、教育委員会と町長部局と合同して議会の方に提案をしていく、という流れになって、まだ</p>

	<p>まだこの後1つも2つも3つも進めていく上ではハードルがあるという事である。</p> <p>それをクリアしていかないと、実際には3つの小学校を1つにする事はできない。</p> <p>だからまだ15年まで10数年あるじゃないかと言っても、意外と時間的なものはないのかなというのが、正直なところである。</p>
委員	<p>私が感じたのは「3つの小学校を1つにする」のと、「小中一貫校」は結構別の物ではないかと思うのだが、今回は一緒に出すという事とは違うのか。</p>
委員長	<p>実際には学校の運営は校長が責任を持って行う。</p> <p>小中一貫校実施の有無については、学校現場の責任者である校長と教育委員会が十分協議しながら進んでいくことになると思う。</p>
教育長	<p>もう1つ付け加えるとすれば、ここでの答申内容というのを教育委員会は全面的に尊重する。尊重するというのと絶対に出来るというのはまた別の話だが、諮問した教育委員会は、答申をいただいたものを尊重したいと思っている。</p>
委員長	<p>この後の流れを申し上げてしまったが、大丈夫か。</p> <p>当委員会として教育長に答申をする。教育長は教育委員会を招集して、本答申を検討し、教育委員会と町長部局で検討をする。そして議会に諮って決定していく。</p>
副委員長	<p>3人いる地域の区長としての立場から少し意見を述べさせていただく。</p> <p>4ページの「4 答申(案)」に、だいたい過去8回に議論されてきて、概ね集約されてきた内容でまとめられているのではないかというふうに思う。これに対して大卒では特に反対する事もない。</p> <p>ただ、表現の仕方というのか、受け取り側がどう受け取るかというところが、結構ナーバスな問題があると思う。私もこの会に参加させていただき、極力中立的な立場で意見を述べさせていただいたつ</p>

もりだが、地域の代表としてどう思うか、地域住民がどう考えているのかというところの視点で、正直なところを言わせていただくと、おそらく特に東児玉小地区の住民はかなり不満がある内容だと思う。

というのは、東児玉地区に限れば、差し迫った問題にはなっていない。ただ美里町全体として考えたときにどうなのか、というところで議論しないとならないというところで、かなり私はニュートラルな立場でものを申してきたつもりだが、おそらく東児玉地区の住民から見ると、かなり不満がある内容だと思う。

そうは言っても、「適正規模と適正配置」に対する答申案である。適正規模から考えると、将来予想も含めてそれに照らすと、やはり統合で一本というのが望ましい姿なのかなど。そのところは今まで集約されてきた通りだと思う。ここは異論は持たないところではないかと思う。

ただ、やはり地域の感情からすると、「なんでそんなに急いで統合しなきゃならないんだ」というところがあることは、事実である。東児玉地域の住民からすれば、周辺の住民に聞いても、そういう声が多い。美里町全体として考えた場合は、やはり統合の方向に向かわざるを得ないのかな、仕方ないのかな、というところだと。

そういうところを、あまり感情を逆なですするような表現を極力避けていただき、ソフトな表現にいただければありがたいと思う。

それと、後は統合する場合の場所。これもここの表現の仕方だが、『町中心部に新設が望ましい』。我々参加している人間は、その理由もだいたい分かっていると思う。なぜ町の中心部なのかというのは、一般論で言えば町中心部というのは一番人口が多い。つまり人口が多い所というのは、生徒の数も絶対的に多いわけで、自ずから町中心部というのが適切だというのは当たり前の事ではないですか、と思うわけである。

ところが美里の現状はどうか。決して地理的な町中心部が一番人口が多くはなっていないのが美里町である。これも東児玉の住人からすると不満があるところだと思う。「なんで一番多い所に合わせてくれないの？」と。企業の合併であれば、大きい所に吸収されるのが本来の資本の論理だろうと言いかねない。そういう話が出てきても、感情論としては不思議ではないところがある。

なので、ここを表現するにも、私は理由も分かるのが、単に『中心部が望ましい』のではなくて、何故に中心部が望ましいのかという、最大公約数的に納得できるような表現にしていただけでないか。例えば「中学校との連携もしやすくなる」とか、そういったところから組み立てていく表現にさせていただいた方がよろしいのではないかというふうに感じた。

細かく説明すれば、ほとんどの地域住民の方に納得していただける内容だと思う。ただ、何か「中心部が当たり前だろう」「地理的な中心部が当たり前だろう」というように受け取られないような表現を工夫していただけないかなというふうに思う。

あとはやはりまずは「適正規模と適正配置」というのが柱になると思う。小中一貫校とか、これも非常に新しい教育スタイルとして大事な部分だとは思いますが、幹の部分というのはやはり規模、1校に統合。それから、場所はどこになるのか、というところを幹にした上で、この次の新しい教育スタイルだとかスクールバスを付随的に表現するというような流れに持って行った方が、焦点がハッキリして良いのではないかというふうな感じを受けている。

少し分かりづらかったかもしれませんが。私が考えている事は以上です。

委員長

それぞれの地域によってまだ色々な住民感情があるという意見。そして同じ「中心部」という表現だが、分かる部分という事では中学校との連携を想

定して「中心部」というふうな事を書いたり、子どもたちが最大公約数的に登下校が一番しやすい場所という事で考えると、この辺は色々な表現の仕方があるのかなというふうに思う。これも検討していかなくてはならないだろう。

では私も少し皆さんとは違った意見を申し上げたいと思う。

答申というのは出来るだけ少ない方がいいと思っている。ただ、将来は1校にする、適正規模の面から1校にする、適正配置の点からこの場所にする、というだけだとやはりそのところは勿体ないなど。

もう1つ、我々は十分学校の役割を考えながらやってきたという事で、学校が無くなった後もその役割をどういうふうにしていくのかという部分もどこかに残しておいた方がいいのかなと、そういう思いである。つまり、理由のところには書いてあるが、学校が担ってきた役割、地域のコミュニティの核としての役割を何らかの形で町当局は受けて練って行ってほしいというような内容を、この部分に入れておいてもいいのかなと、そんなふうに思った。

やはり住民が100%賛成してくれるなんてことは、なかなか難しい。こういう状況の中でより多くの人に理解をしてもらうには、配慮している部分を当委員会も打ち出しておいた方がいいのかなと、そんなふうに思った次第である。それが私の意見である。

この中で共通して考えていかなければならない部分は何点か出てきたと思う。

最初の1点は、新しい学校をせっかく作るのだから、その学校にこんな部分を期待したいというような内容を、例えば「高い学力」だとか、あるいは「活気ある学校」とか、そのような文言を盛り込んでも良いのではないだろうか、というのが1点。

それから2点目は、「適正配置」のところ、『中心部』という部分で皆さんからたくさんご意見をい

	<p>いただいた。副委員長からも意見をいただいたが、やはり「なんで中心部なのか」というのを論理的に表現しておく。「中学校の連携」とかそういう部分が必要だろうなというふうに思う。</p> <p>それから3点目だが、経費だとかあるいは複式学級の状況というような課題。ここに参加した人は分かるけれども、参加していない人が分かるような方法はないのかどうか。その辺のところ、なかなかページも限られているというか、そんなにたくさん文字を並べても読む人がいなくなってしまうので、少ない文字の中でどうやって分かってもらえるかという部分が課題なのかなというふうに思うが、教育長、この辺はいかがか。</p>
<p>教育長</p>	<p>私の方でこの検討委員会に毎回お願いしていることは、例えばどんな環境が子どもたちにとって「望ましい環境」なのか。その望ましい環境の中で「どんな教育を進めたら良いか」、2つをいつもお願いしているので、ある程度、教育スタイル的なものまで踏み込んでいただければありがたい。</p> <p>3つの小学校が1つになって、場所的に中学校と連携するには近くの新校というのがやはり望ましいと。それだけではなくて、近くの中学校との連携をするためには、新しい教育スタイルも、今埼玉県で坂戸に1校小中一貫校があるが、おそらくこの小中一貫校というのは今後増えていくであろうと思う。ただ統合するのではなくて、そこでどんな教育をしたらいいかというところまで答申の中に入れていただけると、方向性としてはっきりする。</p> <p>小中一貫校というのは、小学校6年間、中学校3年間で、同じ教育目標に向かって子どもたちを教育する新しいスタイルの学校である。</p> <p>私から言うとすれば、美里を背負って立つ子どもたちにとって望ましい教育環境はどんな環境なのかという視点と、その望ましい学校教育環境の中でどんな教育を進めたらいいかと、その辺を入れていただければありがたい。</p>

<p>委員長</p>	<p>将来の学校の姿が多少見えた方が、私もいいと思う。そうすると、そこでどれだけ学力が高まるのか、子どもたちがどう伸びてくるのか、やはり町民の期待も背負えると思う。この部分については『答申の理由』のところに「将来の姿は」という部分を一段落設けて書いてもいいかと。そしてその中に、学力の事とか体力の事とか、今教育長も言ったが「9年間を通して学力、体力をここまで伸ばしていく」というような長期的なプロセスを明記していけると良いかと。</p> <p>あくまでも「望ましい」という、そういう表現にはなってしまうが、そういうところかと思う。</p> <p>それと、先程の『中心部』の部分については、十分『理由』のところでも一文、二文入れるというところでカバーできるかなと思う。事務局、いかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今おっしゃっていただいた話は、『理由』の中に十分盛り込める内容であると思う。</p> <p>教育スタイルについては、特に指導主事とよく相談をして、「どういったビジョンで」というのは追加で一段入れることは可能かと思う。</p> <p>あと『中心部』の話については、「なぜ中心部か」という意味では、中学校との連携が一番重要な事になってくると思うので、そういったところを論理的に『理由』の中を含めたうえで、『答申』のところでも少し触れ、そういったいきさつから「中心部」というか「中学校付近」が望ましいという書き方にさせていただきたいと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>それから私が今言ったように、新しい学校のスタイルというか、それは3ページの(5)、このところで皆さんで検討したわけである。坂戸市の城山小中一貫校、長野県佐久穂町の小中一貫校、春日部市の江戸川義務教育学校等、そういった資料を検討した結果、やはり美里には小中一貫校という形で中学校と隣同士、あるいは中学校のすぐそばに作ることで9年間を見通した学力や体力の向上という部分</p>

が入った形で、「見える化」を図るという事が必要なのかと思う。

そうすると『中心部』という部分も、新設の学校の姿というのも見えてくるかと。

あまり『答申』のところに盛り込んでしまうと、見た目がバラバラになってしまうので、『答申』のところは出来るだけ少なめに、それを補う『理由』のところに盛り込んでいくという形で事務局の方にお願いしたいと思う。そんな形でどうか。

『理由』のところに少し「新しい学校論」のようなものを一段落設けて、そしてそこに像とそれから求める「こういう力を、9年間を通して付けていく」という形。そうすると先ほど教育長からの「そこまでやっていただけると、ありがたい」という部分にもつながってくるが、こんな形でもう一回事務局の方に検討してもらおうというふうにしたいと思う。

それから3人の校長先生方から出た部分もこれで多少解決するかと思う。

やはり気になるのは、副委員長の言ってくれた部分である。差し迫った地域の方々は真剣みがあるのだけれども、「まだ十分子どもの数も多いから、そんなに心配ないよ」と思うところと温度差がある。これは仕方のないことだと思う。ただ、東児玉も何年後かには単学級になってしまっていて、逆に松久の方が多くなってしまう想定が出ているわけなので、やはりそういうのが分からないから、資料も大事なのだろうなと思う。

資料ももう一度見直してもらって、分かりやすい資料というか、「ああ、そうなんだ。10年もしないうちに松久の方が多くなっちゃうんだ」というような事が分かるような部分、そういうのが必要なのかなど。

教育長	松久の方が、入学児童が多くなるのか。
事務局	入学者数の予想では、そうなっている。
教育長	全体ではもしかしたら東児玉の方が多いかもし

	れない。ただ、さらに行けばもしかしたら分からないが。
事務局	入学者数が、東児玉の方が減少が激しいという予想が出ているというところである。
委員長	そういう文章と資料があって、初めて分かるという。
副委員長	たぶん、びっくりすると思う。
委員長	<p>どうしても、「おらが町の おらが学校」だから、私もそうだが、自分の学校が無くなってしまったら寂しいというのは当たり前のことであって。</p> <p>ただ我々は、将来の子どもの事を考えるという事で今話を進めているので、本当にニュートラルというかその1点で話を進めているわけだが、気持ちを十分踏まえながら、という事なので。</p> <p>そんな形で新しく一段落設けて、新しい学校のスタイルを明記すると。そこには『中心部』の事も含めて書く、という事になる。</p>
教育長	<p>訂正の方よろしいか。</p> <p>私が気付いたので話したいと思うが、1 ページ目の『2の(1) 児童数・学級数について』のところに、例えば『松久小178人』の次に『普通学級』という表現がある。今「普通学級」という表現は使わないので、「通常学級」と言う事で、それから後の部分は全て「普通」を「通常」に直したいと思う。</p> <p>東児玉も236人でその後が「通常学級8学級」。大沢小学校が82名で「通常学級6学級」であると。その下も『松久小より大沢小は「通常学級が」』というような表現にさせていただき、下から2行目は『東児玉小も児童数が減少し、「通常学級が」学年1学級となり』普通学級というのを通常学級という事で、訂正させていただきたいと思うが、よろしくお願ひしたい。</p> <p>あと、令和15年というのは2033年に全て直す。2035になっているが、2033という事で答申の中身を全て替えたいと思うので、よろしくお</p>

	<p>願いたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員から指摘があった、通常学級の子どもたちが例えば2学年あって17人ならば、1学年1クラスになるわけだが、入学している子どもたちの中で特別支援学級を希望する者がいると、より早い時期に複式学級になってしまうというような事があるのだが、実は、昔は特別支援学級に入級するのを、保護者の方々が承諾されなかった事例が多かった。ところが今子どもたちの障害とかそういったものに応じて適切に指導を受けられるのであれば、特別支援学級あるいは特別支援学校の方が良いというふうな形に変わってきているので、委員が言ったように、より早い時期に複式学級になってしまう可能性もある。</p> <p>現在埼玉県は、特別支援学校が満杯状態。新たに特別支援学校を2つも3つも作らないと入学できない状況がある。特に南部地区、戸田、川口、草加、さいたま市。この辺は人口も多いが、先ほど言ったように保護者の方が、子どもに合わせた教育を専門的に受けられるのであれば、特別支援学校あるいは特別支援学級に入りたいと、そういうふうに変ってきている。なので、早く複式学級になる可能性は高いかなという感じもする。</p> <p>既にこの近辺の子供達は、本庄の特別支援学校に通うわけだが、本庄の特別支援学校は小学部、中学部、高等部と3つの学部がある。中学校の特別支援学級の子供達の卒業後の進学先について、本庄特別支援学校の方へ行くことが多い。そうすると、美里、本庄、神川、上里の子供達が行くので、本庄特別支援学校の高等部がいっぱいになってしまっている。実はそういう状況がある。</p> <p>深谷に「はばたき」というのを作ったが、もうここもいっぱい。定員すれすれである。ちょっと皆さんの希望が増えると、ここもあふれてしまうというような状況で、北部であっても特別支援学校がいっぱいというような、そんな状況がある。</p>

	<p>蛇足だが状況を話した。特別支援学校、学級、結構今は昔とは違うのだと理解いただいた方が良いかと思う。</p>
教育長	<p>令和15年頃とは書かれているが、複式学級になるのが早まる可能性が当然ある。</p>
委員長	<p>委員はたぶん教育委員会に勤めていて児童生徒数の調査をずっと行っていたから、美里の町の状況が一番良くわかっていたのではないかと思うが、特別支援を希望するお子さんはやはり増えていたか。</p>
委員	<p>今までは各学校に特別支援学級があっても、美里町の場合は1人学級。特別支援学級があるけれども、1人しかお子さんがいないという状態が10年くらい前は続いていて、もちろん大沢小は特別支援学級が無い時期もあったが、それが今では各学校で特別支援学級が今は2クラス、東児玉は3クラスある。その中に入級している児童も、松久は3人。知的学級も情緒学級も3人ずつで、どこの学校も1人ずつというような事が無くなってきているので、その辺のところは少し変わってきているし、人数も増えてきているし、それから1年生から入級するという事は非常にまれな事だが、最近は就学にあたって教育委員会との話の中でそういう方向で少し子どもたちの様子を手厚く見て欲しいというような保護者の希望から、1年生の時から入級する子の数も増えてきているという現状が美里町はあるかなという気がする。</p>
委員長	<p>私は県全体の事を申し上げたが、委員の方から美里町の状況についても推移を紹介していただいた。やはり似た傾向はあると理解いただけるとよろしいかと思う。</p> <p>特別支援学級の子供達も、1人でいるのでは家庭にいたのと同じである。やはり複数いて、我慢をしたり譲り合ったり、そういう事が社会的勉強になるので、特別支援であってもやはり複数いた方が絶対に教育的効果は上がる。そんなふうに皆さんにも理</p>

	<p>解いただければと思う。</p> <p>さて、この後だが、もし皆さんの方からご意見が無ければ、この後教育委員会事務局の方で今いただいたような意見を文章にしてという事だが、また集まっていたくというのはなかなか厳しい部分があるので、教育委員会事務局で最終的に皆さんの意見を取りまとめて、皆さんのところに送って、了解を取るというような形をとる方がいいか。また集まっていたくというのは、このコロナ禍ですので厳しいかと。8月26日から2学期が始まってしまうという事で、校長先生方も学期が始まるとなかなか学校を開けるというのは大変だと思うので、教育委員会の方でうまく皆さん方に見ていただいて了解を取っていただくという事は可能か。</p>
事務局	<p>皆さんの意見を反映し、それを郵送させていただくような形で了承・確認をいただいた上で、最終案として提出いただく形を取らせていただければと思う。</p>
委員長	<p>郵送なり持って行って委員さんに見ていただいて、どうでしょうかと確認を取ってもらえるか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員長	<p>「いいですよ」と言われればそれでいいが、「やはりここは」と言ったら再度事務局で検討し、みんながOKとなったら初めて当会として教育長の方へ答申という形で提出したいと思うので、事務局には大変な思いをさせてしまうが、その方がいいか。</p> <p>一人一人から了解の意見を取って、教育長に渡す。渡すのは全員集まってというのはなかなか難しいので、私の方で、あるいは私と副委員長の二人くらいで教育長の方に渡すという形で進めたいと思うが、了解いただけるか。</p> <p>少なくとも事務局からこの後必ず直った物が行く。目を通していただき、了解を出していただく、あるいは修正の意見を述べていただく。それを少し繰り返していきたいという事である。</p>

	賛同いただけるか。(一同了承) ではそのように、事務局をお願いしたい。
事務局	了承。
委員長	それではこの答申案、それから資料等も含めてもう一度最後事務局には見直していただく。 (2)その他について、事務局をお願いしたい。
事務局	今の話の中で、こうやって集まる事は最後という形で承認いただいたので、検討委員会としては今回が最終回とさせていただければと思う。 今いただいた議論等を反映して、新たな答申を示して、またそれに対しての意見を伺う形を取り、最終的に皆様の上承をいただいた時点で、今度は委員長と副委員長に最終答申案として提出していただくという形で考えている。 最終案や今回の概要録については、なるべく早く示せるようにするので、よろしくをお願いしたい。
委員長	最終的に私と副委員長で教育長の方に答申に渡したというのも連絡していただければと思う。 教育委員会の方で答申をもらったら、どこかできちんと公開するというのでいいか。
教育長	答申を受けたら、それを教育委員に渡し、町長にも渡し、議会の方にも示したいと思う。
委員長	教育長の方から、町長や教育委員や議会の方に渡すという事があるので、その前に色々なものが出回ってしまうと混乱を招くので、ぜひ配慮していただきたいと思う。また事務局の方から連絡があると思うので、よろしくをお願いしたい。 私の方の役割についてはこれで何とか終わったかなというふうに思う。 9回という長い期間にわたり、皆さんには本当にご協力いただき、ありがとうございます。最後までとまらないまま事務局の方に投げてしまって、事務局に大変な思いをさせてしまうのは見えているが、事務局の方によろしくをお願いしたい。 皆さんにはお礼を申し上げて、私の役を終わらせ

		ていただく。本当にありがとうございました。
5 連絡事項	事務局	
6 閉会		

上記は会議のてん末を記したもので内容に相違ないことを証するため署名する。

令和3年 月 日

委員 \_\_\_\_\_

令和3年 月 日

委員 \_\_\_\_\_